

中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会 総量削減専門委員会（第5回）開催について



2025 年 6 月 9 日に、中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会 総量削減専門委員会（第5回）が行われました。議題は以下の通りになります。

日時： 2025 年 6 月 9 日 9：30～12：00

- 議題：(1) 指定水域の水質汚濁メカニズムについて
 (2) 海域における生物の多様性及び生産性に影響を及ぼす要因について
 (3) 水質将来予測について
 (4) 汚濁負荷削減対策等の実施状況について
 (5) その他

上記の議題を中心に行われました。

・本委員会では、水質改善に向けた科学的知見の共有を目的とし、指定水域の水質汚濁メカニズムについて、閉鎖性海域の特性や底泥溶出の影響など、多角的な観点から分析が行われました。

・瀬戸内海において、水質の改善が必ずしも生物多様性や水産資源の生産性向上に直結していないことから、複数年度にわたる負荷削減の影響についてモデル解析を行い、COD および栄養塩類（全窒素 [T-N]、全リン [T-P]）の削減効果を比較・検証しました。

・生物多様性の変動に対して、各要因の因果関係が依然として十分に解明されていないため、今後は基礎的な環境調査の充実とモニタリング体制の強化が適切な環境管理の推進に向けて不可欠となります。

・総量規制の在り方を検討するにあたって、単なる濃度・負荷量といった指標だけでなく、「豊かさ」をどのように捉えるか、という価値基準や総合的な指標の検討が求められています。

当社では排水分析について実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社排水分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2025 年 5 月 27 日付 環境省報道発表資料](#)

